

くれるなんて思ってもみなかったの。とてもビックリしたけど、でも喜んでいまして目を輝かせ、とても嬉しそうでした。それに、高速道路で羽田から都心に向う間に眺めた景色は、どこにも大きなビルディングが立ち並び、非常に近代的な光景で、それも予想以上だったということでした。

●「1人の歌手としてのデビッド・キャッシュディに早くなりたい」……音楽と演劇のお話し

デビッド、本名デビッド・ブルース・キャッシュディは、1950年4月12日午前12時10分、ニューヨークのマンハッタンにあるフラワー・フィフス・アヴェニュー病院の3号室で生まれました。父はブロードウェイのスターであるジャック・キャッシュディ、母は女優のエヴァリン・ワードという恵まれた環境のもとに生まれた彼も、今年24才。目前にいる彼はとても若々しく、まだ10代の少年のようにみえるけど、その考え、行動はやはり24才の青年らしく、非常にしっかりしていて驚かされました。

長い間、ポートリッジ・ファミリーの一員としてやって来たけれど……という間に、彼は、最近出したソロ・アルバムは別にして大抵のレコードは、ポートリッジ・ファミリーと一緒に、レコードのタイトルもポートリッジ・ファミリーとなっているけど、歌手は自分1人だし、彼の人は俳優だったので、もちろん、ファミリーの一員であるとは思っていたけど、歌手は僕だけだと思っていたと語り、さらに、ポートリッジ・ファミリーの時代に



は、レコードを作るときはいつも同じプロデューサーで、同じスタイルでやって来て、自分だけの曲もあったけど、ファミリーの人達との曲もありました。自分で歌いたくないものもあったけど、歌えといわれれば、それも仕方なく歌っていたこともあったので、これからは絶対こういうことはしたくないとこたえてくれました。そして、一番新しいアルバムは本当に自分1人でうたったもので、曲目も自分で決めたので、とても気に入っています。早く、ポートリッジ・ファミリーのイメージから脱け出て、1人の歌手としてのデビッド・キャッシュディになりたいということでした。

ところで、これからどんな曲を中心にうたっていきたいですかという問いには、具体的に言うのは、とても難しいけれど前置きしながら、「最近の音楽には、



本当に自分がやりたいと思うものは殆どとっていいくらいないので困ってしまいます。自分でかいたものでも、友だちがかいたものでも、何でも良い歌をうたいたいのです。1年ぐらい前のポール・マッカートニー&ウィングスの「ハイ・ハイ・ハイ」は、好きな曲の1つですが、といっても彼らの曲が全ていいと思っているわけではありません。音楽的に一番僕の印象に残っているのは、1963、64、65年あたりのヒット曲でしょう。初期のビートルズのアルバムを聴いたりすると当時のことが思い出されて、懐かしい気がします。他に、ラヴィン・スプーンフルやバッファロー・スプリングフィールドなどが好きでした。とにかく、今後は、自分の歌いたい歌だけを歌っていき

いのです。」と強調する彼は、やはり、ポートリッジ・ファミリーのイメージを早くすてたいと願っているようでした。

本格的に歌手として、ちゃんとやっていきたいと願っている彼ですが、俳優の方には興味はないのでしょうか。「歌手になる前は役者だったし（注：ポートリッジ・ファミリー以前に『ザ・フィフ・リープス・ア・フォーリン』や『鬼警部アイアンサイド』を始めとする多くのTVドラマに出演していました。）いつかまた出来たら楽しいだろうなと思ってます。でも、何か演じる時は、それに打ちこめる何か重要なものがなくて、それがなくてはいけないと思うけど、今の自分にはそれだけの